



肥後にわかれて認知症について楽しく学びます

認知症サポーター養成講座

認知症への理解を深め、認知症の人やその家族を温かい目で見守る応援者を養成します。徘徊する高齢者への声掛けのポイントや接し方も学ぶことができる、やさしくわかりやすい講座です。

- 平成26年度の受講者数
小・中学校や企業、老人会など、14回開催し、917人が参加しました。

講師を派遣します

認知症サポーター養成講座を開催しませんか

- 対象 おおむね15人以上の団体など
- 申込先
市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎242-7000
市包括支援センター（西合志庁舎）☎242-1124



◀サポーターの証 オレンジリング
「認知症の人を応援します」という意思を示す目印として、受講者全員に配布します。



ささえ愛ネットワーク 模擬訓練2015

徘徊模擬訓練ともいい、行方不明の高齢者を迅速に発見・保護するための訓練です。認知症を理解した住民同士で助け合い、支え合う地域社会づくりを目指して行ないます。

- とき 11月29日(日)
午前9時～午後1時
- ところ 市福祉センターみどり館
- 事前説明会 11月11日(水) 午後1時30分～3時
市福祉センターみどり館
- 参加申し込み・問い合わせ先
市包括支援センター（西合志庁舎）☎242-1124

認知症について相談したいときは

- 市内の認知症専門医療機関
・菊池病院（福原208）☎248-2111
・中山記念病院（須屋702）☎343-2617
- 同じ悩みを持つ人に相談したい
・認知症の人と家族の会 ☎223-5164
午前9時～午後6時（水曜日以外毎日）
- 認知症に関する困りごと
・県認知症ほっとコール ☎355-1755
午前9時～午後6時（水曜日以外毎日）
- ・こうし高齢者相談センター（市包括支援センター）☎242-1124
午前8時30分～午後5時15分（月～金曜日）



いま、ひびく
少子高齢化や核家族化で介護の担い手が減っている現在、介護している人も、地域全体で手をとり合って守り支えることが必要になっていきます。
本市でも、各所で認知症について学んだり意見交換したりするさまざまな事業を行なっています。認知症の家族がいる人、認知症の人、認知症について知りたい人、何かできることを探している人は、一度のぞいてみませんか。

受診をためらわないで。早期発見・早期治療の必要性
「認知症はどうせ治らない病気だから」と医療機関の受診をためらう人もいます。しかし、認知症は早期受診、早期診断、早期治療がとても重要です。
例えば、アルツハイマー型認知症は薬で進行を遅らせることができ、早く使い始めると健康な時間を延ばすことができます。
脳血管性認知症は、脳血管障がいや再発やけが、体の病気、環境の激変など、大きなストレスにより段階的に進行することが多いので、これらを防ぐことで進行が止まることもあります。



認知症カフェ
認知症の人やその家族が対象です。仲間とカフェでゆっくり語り合いませんか。おおむね2カ月に1回、偶数月に開催しています。
●とき 12月16日(水)
午後2時～
●ところ ふれあい館
カフェ・ランラン

認知症家族のつどい
認知症の家族を介護する人などを対象に、仲間が集い、気持ちを語り合う場です。おおむね2カ月に1回、奇数月に開催しています。
●とき 11月18日(水)
午後1時30分～
●ところ 泉ヶ丘市民センター
※場所は毎回変わります。



認知症ささえ愛隊

認知症の人とその家族の支援などを行なう、市民の有志でつくる団体です。認知症に関する研修会や講演会など各種イベントの協力などを行ないます。

- 現在の登録数 事業所 163カ所
個人登録 364人

●上記3事業の申し込み・問い合わせ先 市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎242-7000